養鷹方書全

登錄第2992號
第 VII 門
第 3 部
記號 D.
函架
平野圖書箋

UNIVERSITY OF KANSAS LIBRARIES
MS
C175
RARE BOOKS

○鶇

天皇陛下 御覧

○鶇（テウ）鳥なり廣雅小曰く鶇は曰鶚（ヨウガク）の鷂（ヨウ）の如く尾長く背青く腹白く能く水に入りて魚を捕ふ本邦洋名放鶇（ホウヨウ）の如し人皆十字代使ふて筑前冷泉の津今の博多小呂島に多く産す故に名とす仁徳帝の御宇百濟の人鶇を携へ来り泳ぎを教ふ是本邦に鶇を畜ふの始なり其後十五代應神帝の御宇百濟の王より又鶇を献ず是より漸く諸國に傳はりしと雖も未だ多くは用ひず推古帝の御時に至り百濟の王子阿辰古（コ）を初めとして百濟の國百五十人歸化す其内に鶇を善くする者ありしかば

一名義（ゼイ）鳥あり雄の知ところれかこれ贅せん

○或祝に雍（ヨウ）鶏（ケイ）雉（チ）鶏（ケイ）鶴（カク）鵠（コク）鶏（ケイ）鶩（ボク）鵞（ガ）鳧（フ）雁（ガン）鴈（ガン）鵝（ガ）鴻（コウ

波志雪のいむけまくさにあらそひて人を右ゑ申へけり
は志雪の方よりたくさきかるらしきろこし人を右ゑ申へけり
いつれ比より始アしかや武家ハたもとゝ申ゑけり其ゆへを
右もそきこもなれハ尿虞(フグ)に御ふる為なり其よりて才
よりたくさきの羽も公武ハ右れしろひけり一説武家に雪を
たもに据る事しを漁倉幕府の付く始まるといつり

○はし雪といへハ鶴(ハイタカ)をさゝけて云説悪しくなり文字を箸雪(ハシタカ)
羽師(ハシ)雪卑雪なるに作る或説に鶴ハ始て波斯国より奉り事
れハ其国名を冠らしめたし雪といへり三条家にハ
この祝をとらひたく放ち雪といふを中黒(ナヤウリヤウ)して付し雪といふ
とゝつり鶴のことをさゝけるにつゝひ凡つひ雪の熟称と志るもし
冷泉家に橋の字を用ひ三條家にハ箸の字を用ゆ

○鶯れも雌をたとし雄を小とし或は大小を寸(ダイ)鶯兄(セウ)鶯ともいふ
其中凡鶯鶯は雌ハ体をたに見ることを利くして且迅速(シンソク)なり
雄ハこまる反(ハン)を能中鶯(ハヤブサ)の能くいと出ることをのくして児
童の玩弄(クハンロウ)に供するのをたまく鶯鶯類大小かちくきもの
にはいかしへ下まを論(ロン)の鶯といひ又父子(ナカラコ)とも云ふこまを試
もらくは旭をうけて凡の堂儼(エイテツ)をもらを雌とは論の鶯を能く
もらこれ鶯家のなくひちりとう

○鶯相ハ鶯家の秘するところなれば人のうかがひ志るべきに
あらはしきれども指ハ十字を重ん し尾ハ合盧(カウロ)をせふるぞ
いますハ石よりいひ清へて人にハ鶏矣(クハイシヤ)するところなり古音に
小鶯鶯秋よりも海の面掩ひ一羽あるかと見ゆる尾ことこそ
この歌のこころハ尾を一枚に振(フリ)たゝむをいふなり尾末の罫けるハ

其性虚弱(キヨシヤク)にして悪相なりといへり足ハ平脛(ヒラハキ)小凡を良とはれども
こまハ稀なることのなり古歌に
世の中に黄足九経多けれど小凡平脛なくなりけり
さまで黄足ハ当らざることハ右よりも発し多し黄軒(ハキ)の兄(セウ)雪
にまれたる逸物にしてすべしなり口指を洗て梨の上に十
の字のごとく居るを良相とするなり西宮なる流の祝ハ雪の下
に翔(トバイ)落(ヲチ)て凡を以て韝(ユカケ)を捨(カキ)て翔ハ鴉(ツルベ)瓶さへひとしいてこゝめにしれ
ど良相なるといへり
○凡雪鶴性極く逸物と称せしかゝる事なれば城市の間にて蒼鳥
又ハ鶴なりとも捉る人こまにをつ事とも畏ることなしかゝる
時ハ其捉しなるを凡事にしたり徐(シツカ)にしよせれば雪いなくなるを
て放ちしに其時右手にて雪の兄(ケナシ)無(ハキ)を志りて取へしこの捕

やうと云ふは鶯の屋ることを取んとしてはいけに一をとり雙かくきゝ
ののはりに得へきてすなり

○狩場なとそれ(モシ)鶯相攫(アイツカマ)ハ且ハ得両鶯の頂をさらへ一五(フタツ)なる
ら解るなり鶯氣カつきハ生姜の絞アイを流(ソヽグ)(ノマシムル)へし狩場
ハ勿論常にも鶯師なき生姜熊膽ることの無不可をはなる二
ならば臨時(リンジ)の急を救ふにむしきなり

○ゴ(ザツ)雜組(ザツリ)に鵜と隼とハ鷙(シ)撃(ゲキ)れ鳥なり然れても鵜ハ寒者に
少々捕て見ていくしも且(アシタ)りしきさまを放ちましむ自
ハこの事ハ住し方に付ほといへり隼ハ懐怡のものを教さは會紀
よ隼ハ伏(フク)を撃(ウタ)ず姫(ジン)を撃(ウタ)ばしいへり右平に
又一説ニ鶯れこゝきハ嗟ざるとこゝろなし故に蒼鶯を酷(コタリ)吏

よ此ハ実ハよく雄（タトヘ）をとりたり

○鶴の嵐を知る法あり啓蒙ニ云一三の鶴尾上凡黒く底色
赤し三鶴尾上凡赤く底色黒し四五鶴尾上凡赤くそこ
そ白し又白筋あり六七鶴尾上凡黒く少し白くして
赤筋あり九十鶴尾底色黒く上凡黄ゆゑこと鵜鶘（ヤマカヘリ）
打凡ハ半角のごとく節あり斧毛に一節あ毛に二節三毛
ハ三節あり四ゆゑハ見へかたし

○羅麗（アカゲ）の鶴ハ尋常小美なる良鶴あり又極めて妍（カン）はしそ
別けたる悪鶴あり邪智ふかくして人をも欺くれとも
りのなりこれを卿漏（ガレ）といふ旧鶴の尾邪つまりてさびたるあ
ようにして筈にて鶴の志をきたるに欺きたきなり

○凡鶴類数種ありといへども宛鶴鴻雁なるの大鶴を極ハ黄

鶯鶯のつま隠れ居て黄金の最も多きを送物の事

おなじ人へ玉章を愛情を大きに含(アイ)まして多く鶯(クイナ)を

以鶯鶯告(ヽ)天子鶯(バン)あり鶯なれども

も名ら雨のふらんとする時は児(チコ)集利(サシバツ)利(ミ)雀鶯(ユツサイ)

品数(ワ)にまぎれ児(チコ)集利(サシバツ)雀鶯(ユツサイ)

人称(ヽ)なり

鶯(ウ)を

化(ケ)鳥(ガ)を称(ヽ)する方

化鳥(ケガ)を称する方

化鳥(ケガ)を称する方

化鳥(ケガ)を称

の羅(アミ)を設けて内に小松を栽へ雀鶉(ツミ)なとの類に草をさし
二尺ばかりの條(ヲホヲ)を結ぶ事徼(ヘヲ)をなし縄にして彼の小松の枝にとゆ
ら張り重さして羅(アミ)の後に人二人居るなりとのとやをとりしらへ志のくわ
より右のとやに入鶯の渡るを俟(マツ)なり鶯鶉(ヲホタカハイタカ)及び鶉宮をわるゝ
れは眠鶯宮を見てとのゝ海かはるゝなり渡り鶯なるゝて こゝ
翺(カチ)れのものなれは鶯鶉なるもとろかに熟れしに見ゆるなりさて
鶯をとらんとはゝ鳥屋の内にて眠先の笛を吹眠(鶯)を引をとせ
は眠鶯枝をとらんとて翺なるなり渡り鶯兄をとらん且眠先笛れ
寿をす鳥て青霄よりくらし眠鶯を攫(ツカマ)んとせるとも設
け重し羅(アミ)にかゝるなり素(モト)より羅のよれ柳絲に機関(キクハン)(カラクリ)ありて
鶯羅にかゝれしかゝ一度にさゝりて袋小入るなり何とに此
機関なりまゝは鶯鶉のやまゝ勢ひはなくなりものはあゝ彼まてとゆら

ぞいつゝの絲大もちなまこハ鷹ハ眼ゝさへさりて脚鷹よりも
いさそ鷹鶴の外に鷹なるゝもしても目ゝらこそ羽翼を巻きる
と見へてあこの中ゝ大きふ高に動かさるものなり即草の活
袋に入まして府下にいきはなり稀ゝハ鷹鶴の知らるゝ鶴鳩
或ハもち態なるも獲ることなり鶴ハいつゝしらるゝものなり
いつゝれは掛脚出の中ゝ習ひあり

○右の場所をしてこゝ山なまこハ鷹ゝりよりてハ沈還自由なるゝ
まへ山の半腹に固屋（コヤ）をけてかけひさきをしし

○羅絲今せ中ゝ兵に絲の煉やうなあり

○羅竿ハ七八寸内ゝ里の汁を黒ゝして如り日ゝ映（エイ）し
羅の同ハ方一寸八方ましして四方同に結屋し
柄絲ハ上中下三筋なり大さハ繳（ヘヨ）ゝ活して三塚なり

解鷹ハ四五居用ニ立しそたるひに出ハ一し一居を用ゐに出せハ
湯むことあり漁（ヲホヲ）し飼ひしハ阿し同立てゐる色を用伸

○爲後新時の早旦ハ鷹數渡るもれなり雜鷹なるに同を
もかけハ鷹鶴を俗（マツ）へ雜鷹にそも移して阿ゝを張らす
る小黄鷹渡らハ悔とも及ひ已の時より来の時まれハ雜鷹或ハもし
ち態にそも稱ハ一中時より落着にいゝりてハ宿鷹（トマリタカ）あり宿
りたるハ雜鷹ハ低（ヒキ）く図合も飢（ウエ）るものなまハ極て獲やすきな
りしくしく石をとらむ一し

○羅の長短機関の法師やし口傳なけまハ詳に記しけるこし今を
人略を呈すとしたのとし
鷹鶴阿ゝに遠ゆて機関鼓（ハツ）を以阿ゝ破まして移し獲さ
その鷹を再ひこの術にそハ獲るしもしこそ鷹山中村落

の望へ切りはこたらんは白き鶴を解きまして天蓋はぶらせて
撥へし飛鷹涵の引あるのは所もよろへし此説ハ雨陽（ユウヤウ）
雑廻（ザリワ）になつけて村落なるに清こそ人を慣さしハ爲又ハ鶴な
とを櫻に食ふ鶴なれ逆相あるものなり
鶴鳥ハなるべき同と渡る所へ地を二尺半掘てこゝまた小柴
を葉して雨露を掩ひ清水富を冥きて鶴の渡るを見るも
共道に達せるへいけれとこゝ鯽（カケ）るとも相ゆりまそいつもの
鶴とまつなり鶴鳥ハ草の木の地を武て若なるを掩ひ鶴
の所やしまそなるとよしとしれ
鶴鶴ハそ性もまるかに姿も美なり生（フ）ゆゑなしも此内ハ
拘いれ鶴鸛のやこと大鶴に鍬くもあり鶴の鶴の目を櫻て拘
ゆゑなしもあるといふ説ありこゝに鵙（ソレ）さるものなるまたに祕花

此源さ出へに繳を先ゝなり
骨(ハヤウサ)ハ其性校懸(コウキツ)なり張さりなしそれ河にしかりしかり
清きたる所ハ天蓋をとゝそれも獲つきなり
曹類秋の彼岸より初冬の後ハ渡るなり中秋の比も同じ
秋冷となるなり飛ぶとし渡く所曹ともよくつくものなり
ハ移し易し数日ゆゑさとゝ懈ふからハ為天の外ハ日ゝ
場所へ住て捕ふへし凡曹類を移ハ方面をとり其所へ
さまゝ殺秘ゆゑなりて其例も同やけなりハ右ゝ心ゆゑ
く張さりとて曹を移ハ例ハ加鉞又ハ同先なるを用
ゆるなり

黄雀

黄雀黄雀稲や粟黍稗やそ荏等の穀物を食ひ又蚊蠅をも食ひ又虫をも食ひ又蛇をも食ひ又鼠をも食ひ又蛙をも食ひ又蛇をも食ひ又蛙をも食ひ又蛇をも食ひ又蛙をも食ひ又蛇

鵜(ヤマカヘリ)ハ嘴深黒色なり首より両翼尾小云て灰茶色まして
翼と尾ハ淡黒色の切生(キリフ)あり拾花(ヒサコハナ)ハ淡白色包脛更衣の
色ハ白色まして稍長し眼ハ黄に頬ハ淡白色咽下より包脛の
ミ色ニて白色まして淡黒色の横生をとし又若毛をも
除せり毛(ケナシ)無脛(ハキ)并小指ハ黄色ましく爪ハ黒色なり

旧鵲ハ鶯并頬同し首より背両翼ハいくりこそ色蒼青にして
青鶯の色ハ似たり両翼并尾の生ハ黒白間にしてみんにきへ
たり拾花(ヒサコハナ)しむ白し眼中きふめて黄に雕下より包腫ゆへて
白くしてしりて細さ淡黒の横生あり包腫并更衣の毛長く色
出し毛母(ケナシハキ)腫より拾ゆへて淡黄色似の色漆(ウルシ)れとし

鶏　和名加介

鶏雄雌ともに冠あり雄は雌より大にして脚に距あり雌は雄より小にして脚に距なし雄は鳴て晨を知らせ雌は鳴て人に告る事あり雄は闘を好み雌は闘を好まず雄は首背翼尾ともに長く雌は首背翼尾ともに短し雄は毛色多く雌は毛色少し雄は冠大にして赤く雌は冠小にして赤色少し雄は蹠に距あり雌は蹠に距なし雄は鳴声高く雌は鳴声低し雄は尾長く雌は尾短し雄は尾に長き羽あり雌は尾に長き羽なし雄は尾羽上に反り雌は尾羽上に反らず雄は尾羽左右に垂れ雌は尾羽左右に垂れず雄は尾羽数多く雌は尾羽数少し雄は尾羽毛色多く雌は尾羽毛色少し雄は尾羽毛色美にして雌は尾羽毛色美ならず雄は尾羽毛色光沢あり雌は尾羽毛色光沢なし雄は尾羽毛色光沢美にして雌は尾羽毛色光沢美ならず雄は尾羽毛色光沢多く雌は尾羽毛色光沢少し

鶉

鶉より小にして箭ハ蒼黒色眼ハ青黒色なり頼る沈黒
色の毛なり其ハ毛の稀なけれとも首より尾羽まゝ蒼黒色
ハ薄き切（キリツ）をなり黒長くして尾にひとし尾の長さもあり喉
下より腹まで沈赤黒色ましてて赤黒色の竪（タテフ）をなり

さゝ上ハ鶴（ハヤツサ）の名屋を鍾しけり首のり尾ふとりて荼毘
翼をくしても尾はしらし 喉下にかり包睡のあらまて沖奈白
色なしして黒き横（ヨコフ）生を出せりて餘れて前に美なることなし

雀鶴と和名都義

和名鈔に雀鶴小鳥
（注略）
とあり此鳥雀に似て
其さまあり拾芥抄
に別て雀鶴と称し
捕ると也小雀ゟ
（ヤマセミカ）
雨梅より
梗概
竹墨
江漢
（注略）
実に
和名鈔
雀鶴
小雀
雀鶴
雀鶴
雀鶴

○九月廿日 晴 午後より雨 昨日の続式の流れを汲みて大雨小雨乃至草刈半日

大雨小雨乃至草刈半

勘してみれば、
名うての
りかしこ
紫と
竹藪
竹の中
やうやく
しかも
ひそかに
羅葉（アガケ）又は
にてそ
さて

鵠（ケ）
雀（アカ）
ふと
ひそかに
人に
悟（イト）
又
ひそかに
ひそかに
ひそかに

何れと逸抱えても相合せ程遠く又ハ場あしき所にて教ぞ相合し
尊に辛苦なりしもまた始終尊れさいりにより謝く相かり恩し
くなり御くものなまハそのの仏明しを尊つる屋し

仟時大尊馴け様のまま

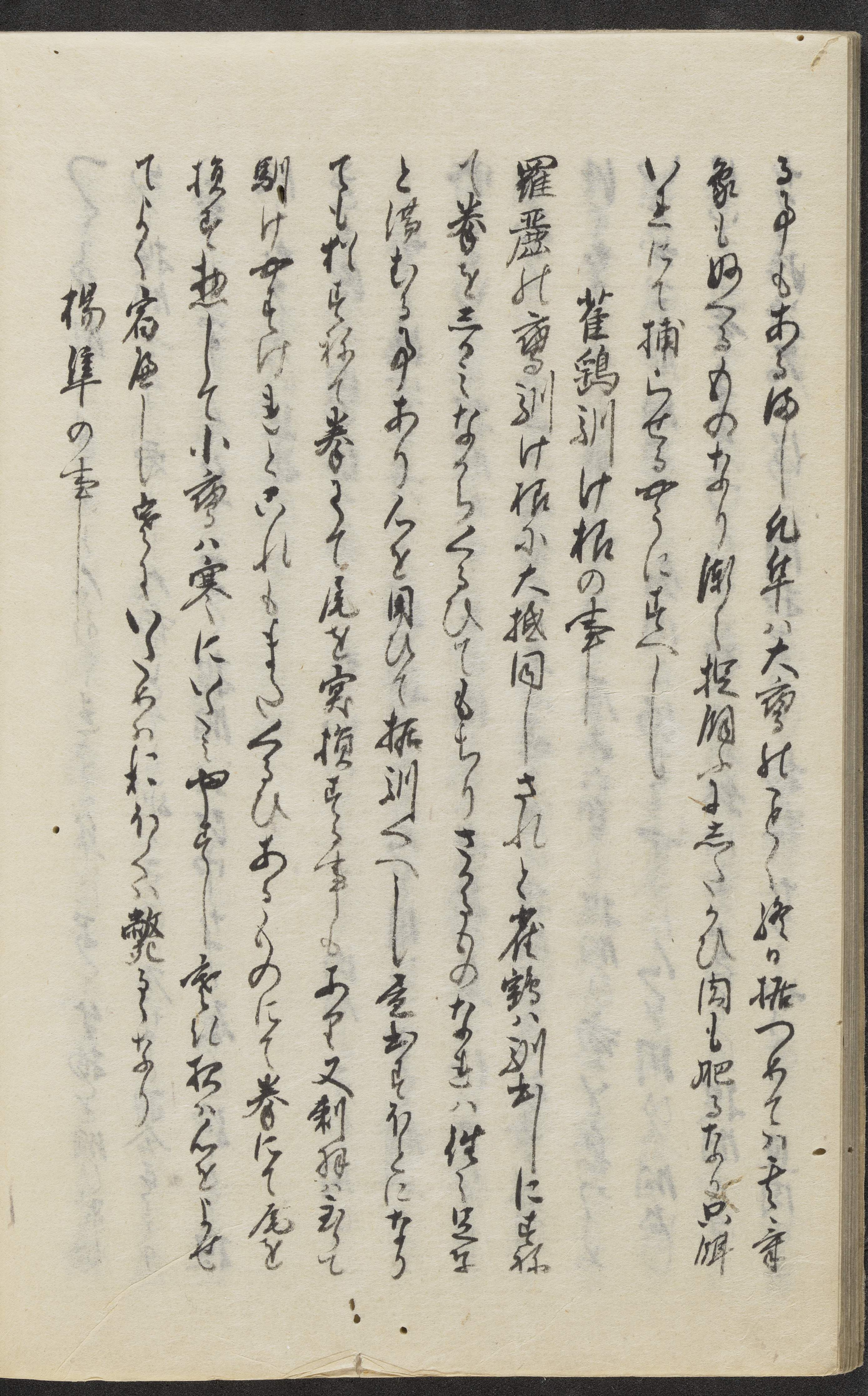
これハ煩尊の附訓けましを附同し仏年附出れ
附訓をいつなり

仟附大尊附しにいらを足革をさしを繋きに亟据訓けに篇む
附ゆる内相及ひ相色の光澤なしにいたるまでよくくんをつけて
相まへし時の中にてつらひし雅もこへされ尊なるふ二枚まも
乘訓させ三枚ほかり訓けにかくこへし内かいなくもの光澤あ
きところあるならば海のあらり病しにかんへはとも病ある
尊と仏明そいまもしして解身内胴ひとくへしこを中に尊れ

依細毛倉阿弭古（ヨサノミヤケヌアニコ）

風采なるひに糞色をよくかんがえて据別くへし又陶れ
ナかりして心くりしもなさ雪を別くるすハ前に記し宜し
羅麗雪れなつけ中に異なるれされとも羅麗ハ小雪なまき
そのみしとさしのきろくせなとありしくとも小雪詳見
投閑ひ又ハ据迄し整くさまふころくしなるものなり大雪
ハ始の別けにナかなるれして癖をつけそれ雪を涯なを
るさとなしなく雪学の達人ハ別けを第一として投閑をもなる
り馴けナかなるさる雪ハ半日も百天にて据されハその癖あるな
見ゆるなり投閑なおしさまある雪をくしも閑に稱その癖あて
始終ハその雪つかひくもしあまるものなり別けすかなるさ
る雪も達人のつかふうちハ未熟の人の目まハその癖えへさふとも
識者の目まハ拳にすへはともこゝ也るなり熟して雪つかふ人ハ已ら

雪の肚中如きつつ胴もまもれなく胴の毛に
附着元肉のごとくなりかゝる雪を元肉と
共に剥取胴敷大概にして
其七度胴卸きるを八度目に胴紙を
用ひ元つゝみて拝領と書つゝみ初
胴紙を用ひ二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ五十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ六十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ七十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ八十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ九十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百二十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百三十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百四十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百五十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百六十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百七十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百八十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ百九十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百二十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百三十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百四十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百五十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百六十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百七十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百八十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ二百九十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百二十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百三十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百四十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百五十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百六十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百七十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百八十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ三百九十九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百一日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百二日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百三日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百四日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百五日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百六日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百七日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百八日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百九日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ四百十日めに又二度
胴紙をもつて拝領と書つゝみ
胴紙を用ひ



揚隼を訓け様をよくし振旗によくつけそれから又采幣
をつけ采幣をよくつきしなるゝは其にて二三
通翔らせ同縫旗をなけて投網ゝし旗は洋縄を送し
又翌日もかくしてゝし若遠く翔をもらゝ采幣をもてホイく
とあをかゝ呼よせ智ゆゝ人のよりて翔らせ振旗をとら
さるそれ時にて投網ゝし日に伸し鷹をよく智て脳を人ハ
漸く高く揚へし隼の呼あをホイくと呼ゝ揚隼の呼あ
なり隼刺羽をとゝ呼人もあり又イとゝ鳴ハ鳴とゝ
あのよし揚隼ハ内かいのくて揚らせ鳴なりこゝ
揚るれと荷羽ゝ鳴ゝ鷹を揚て下手逼紀時鷹
の向ふ方を考ふ風し鷹下風ゝ翔ゝ時下手と逼紀風し
かくして智ハ三ゝ所ハ漸く鷹の情熱をもとゝくなり

天保二年辛卯夏四月下浣

中田雄藏書寫

中田清五郎永寧藏

久留米市
吉田町
野四郎